

議会一般質問への対応状況

平成31. 3 現在

①対応済の案件

年	月	質問要旨	答弁要旨	対応方針・進捗状況	所管課	
30	9	特定不妊治療費助成制度の導入について、熊本県は、特定不妊治療助成事業を実施している。また、多くの自治体では、その県の事業を補完し負担を減らす助成制度を作っている。大津町においても同様の制度を定めてはどうか。	特定不妊治療に対する町の助成については、取り組まなければいけない課題と捉えており、周辺市町村の動向を踏まえながら、実施に向けた検討をしていきます。	対応済	県の助成事業の対象者に対する町助成の開始に向け、平成31年度当初予算に必要経費を計上し、3月定例会に上程した。	健康保険課
30	6	公立小中学校の遠距離通学にかかる費用への助成が必要ではないか。スクールバスが導入されている学校との公平性の観点から、民間バスで通学する場合にかかる費用への助成が必要だ。	町の公共交通政策の検討の中で、現在の課題にあわせた検討を進め、その中で、遠距離通学をしている児童生徒の対応についても併せて検討していきたい。	対応済	民間バスで通学する児童生徒の保護者に対する補助を平成31年度当初予算に必要経費を計上し、3月定例会に上程した。	学校教育課

②新たに対応中、対応方針を決定した案件

年	月	質問要旨	答弁要旨	対応方針・進捗状況	所管課	
30	12	男女標準服（パンツ・スカート）を分ける異議と社会動向を踏まえた合理性。	女子のスカート着用については、校長会に議題としておろしながら検討していきたい。	検討中	1月の校長・園長会において、一般質問の趣旨を説明し検討を進めている。	学校教育課

③対応中、対応方針を決定している案件

年	月	質問要旨	答弁要旨	対応方針・進捗状況	所管課	
28	12	<p>・消防団活動の支援の輪を広げる機能別消防団員を設置し、消防団活動を更に強化しないか。</p>	<p>・機能別消防団については、町消防団幹部会議において、議論を始められたところです。今後、すでに機能別消防団を設置している自治体の状況や町消防団幹部会議での検討結果を踏まえながら進めてまいります。</p>	<p>対応中</p>	<p>・現在、町消防団幹部会議において、団員の確保及び判の統合も含め機能別消防団の検討を進めております。今後、機能別消防団員の位置づけや任用基準を検討し、正規団員との差別化を図りながら慎重に進めてまいります。</p>	<p>総務課</p>
29	3	<p>・大津町における公共交通網の現状とあり方については、平成28年3月策定の大津町地域交通網形成計画において分析され、個別計画策定が平成29年度になされる予定になっている。 公共交通を福祉の観点から捉えれば、高齢者に外出の動機付けをすることや健康づくりにつながる取り組みが必要である。</p>	<p>・部課を超えた総合的な体制づくりとして、公共交通会議における専門部会の設置を検討したい。 高齢者で免許証を自主返納された方への対応策についても検討したい。</p>	<p>対応中</p>	<p>昨年3月に地域公共交通会議に事業者部会を設け、バス・タクシー事業者を含めた協議を開始した。 高齢者の外出支援等を含む地域公共交通網形成計画については、現在町内バス路線の一部見直しと合わせた乗合タクシーの対象地域拡大について準備中。乗車率の低い内牧環状線を廃止し4月からは、乗り合いタクシーを対照地域に導入する。また、町内全域の新たな交通体系の構築についても同計画に基づき、複数の交通体系について検討作業を進めている。</p>	<p>総合政策課</p>
29	12	<p>・生涯学習センター、公民館（中央公民館）、町民集会所（文化ホール）、町民交流施設（オクスプラザ）、条例での名称は非常にわかりにくい。条例改正、または、通称でわかりやすく統一したらどうか。</p>	<p>・施設の名称は、条例上の正式名称や呼称として使用している名称などがあります。 現在管理している公共施設で、複数の名称で使用されている施設の名称については、わかりやすい呼称に統一する方向で検討します。</p>	<p>対応中</p>	<p>・町の公共施設全体について、名称（通称）を統一することについて、政策会議、課長会議、庁議で検討中です。特に各施設の「正式名称」と「通称・愛称」を使用している施設や、似たような名称があり、住民の方々にわかりずらいため、条例改正と運用の仕方も含めて、検討を進めています。</p>	<p>生涯学習課</p>

30	9	町営住宅の入居に際しての連帯保証人の取り扱いについて、近年、身寄りのない単身高齢者等が増加していることで、町営住宅への入居に際して保証人の確保が困難になっている。住宅弱者に対して、的確に町営住宅が供給できるよう連帯保証人要件をなくすことが必要である。	困っておられる方については、例外的に連帯保証人ではなくて緊急連絡人等の届出をされている例もあるので、本町においてもそういった取り組みができないか検討します。	検討中	特別な事情等により、連帯保証人がどうしても立てられない場合、「緊急連絡人」を指定することで、連帯保証人の免除を認める内容の「取扱要綱」を制定し、運用している自治体が複数あるため、大津町でもこれらの自治体が策定している「取扱要綱」を精査中で、3月末までに策定できるよう準備中です。	住民課
----	---	---	--	-----	---	-----

④検討の結果、対応しないこととした案件

年	月	質問要旨	答弁要旨	対応方針・進捗状況	所管課
30	6	町民が健康づくりに「お得に」「楽しく」「無理せず」取り組めるような、わかりやすい「健康ポイント事業」を導入し、町民1人1人が健康寿命を延ばし、生涯にわたって健康で安心して暮らせるための取り組みをおこなうべきだ。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「水水」が、お得に楽しく無理せず取り組めるように、引き続き更なる改善について検討していきたい。</li> <li>・国の補助事業をうまく活用しながら、健康ポイントを活用した健康づくりの取り組みの導入に向けて検討を進めていきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現行の「水水」ポイントを、「楽しく」「無理せず」取り組めるように、団体ポイントを新設し、「百歳いきいき体操」などの高齢者の健康増進活動に取り組めるよう制度を変更しました。年間を通して取り組む団体も増加中であり、「楽しく」「無理せず」という点での効果は果たせたと感じております。</li> <li>また、「お得に」という点においては、マイナンバーを使った「行政ポイント」の実証実験など国の補助事業の運用状況を注視してきましたが、確立はまだまだ難しい状況であり、「水水」ポイントのお得度を向上させる有効策の実現までには、至りませんでした。</li> <li>今後、マイナンバーと保険証との統一化の動きにうまく歩調を合わせることを目指します。</li> </ul>	総務課 健康保険課